

# ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型

追加型投信／国内／株式

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として、外国投資信託への投資を通じてわが国の新興市場の株式に実質的な投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年7月17日～2020年1月14日

第97期	決算日：2019年8月13日	
第98期	決算日：2019年9月13日	
第99期	決算日：2019年10月15日	
第100期	決算日：2019年11月13日	
第101期	決算日：2019年12月13日	
第102期	決算日：2020年1月14日	
第102期末 (2020年1月14日)	基準価額	22,116円
	純資産総額	673百万円
第97期～ 第102期	騰落率	△3.6%
	分配金合計	360円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

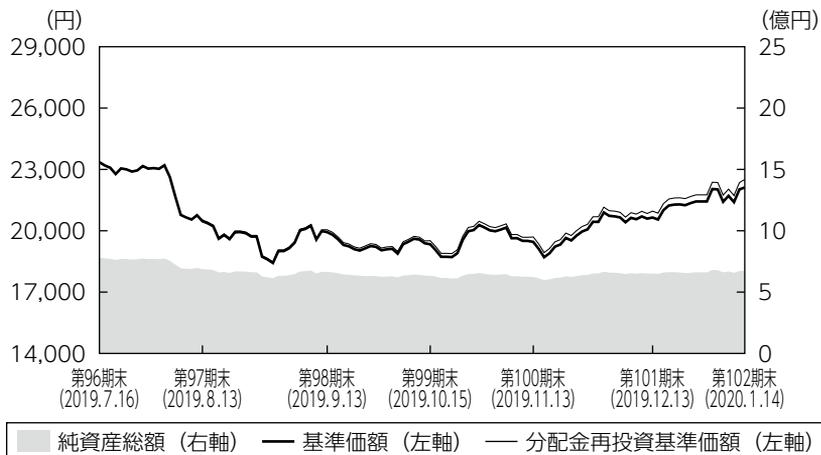
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第97期首：23,351円  
 第102期末：22,116円  
 (既払分配金360円)  
 騰落率：△3.6%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

国際情勢に対する過度な懸念が後退したことなどを背景に国内株式市場は上昇したものの、ブラジルレアルが円に対して下落したことや、セレス、クラウドワークスなどの保有銘柄がマイナスに寄与したことなどから基準価額は下落しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRL	△3.2%
DIAMマネーマザーファンド	△0.1%

(注) ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRLの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第97期～第102期 (2019年7月17日 ～2020年1月14日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	126円	
(投信会社)	( 45)	(0.222)	
(販売会社)	( 77)	(0.379)	
(受託会社)	( 3)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	126	0.619	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

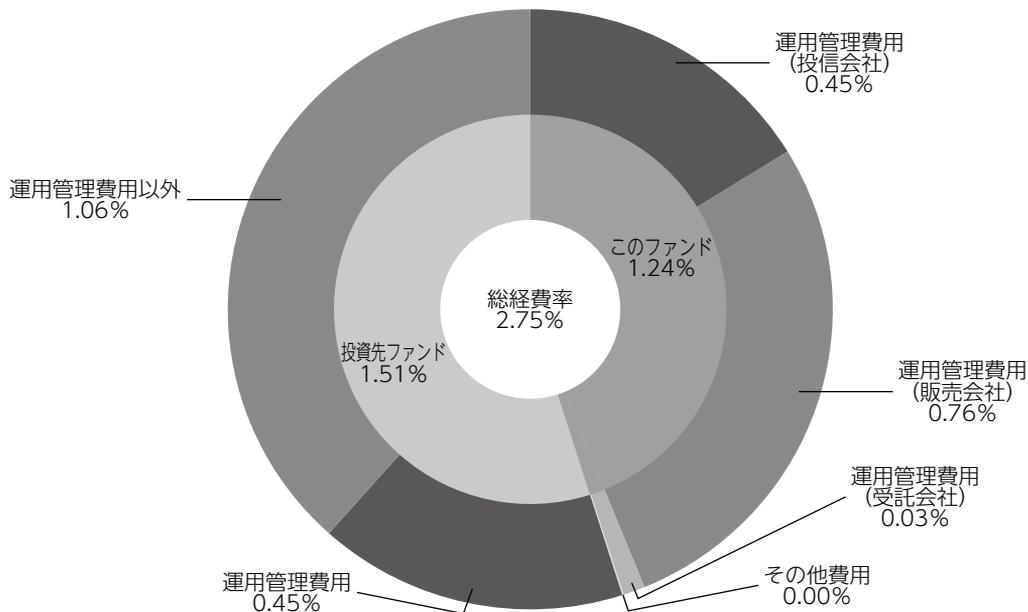
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.75%です。



総経費率 (①+②+③)	2.75%
①このファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.45%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.06%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

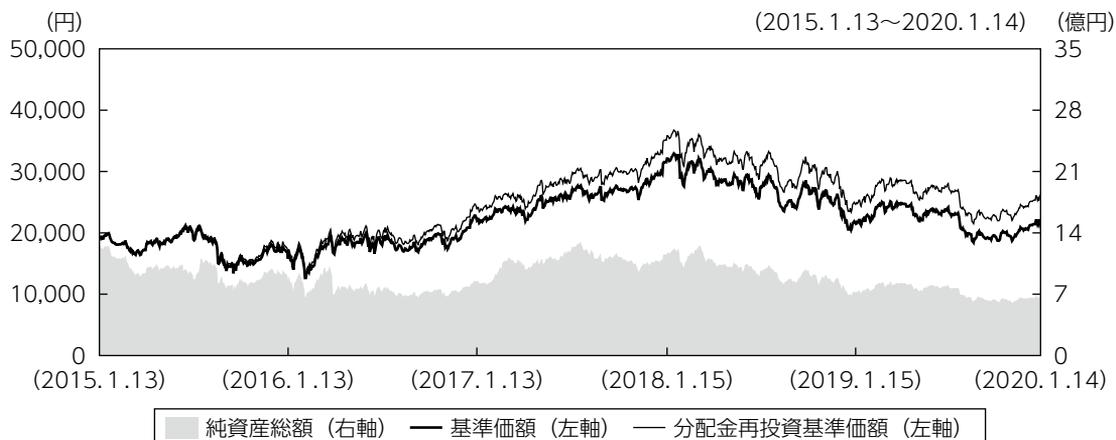
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2015年1月13日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2015年1月13日 期首	2016年1月13日 決算日	2017年1月13日 決算日	2018年1月15日 決算日	2019年1月15日 決算日	2020年1月14日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	19,401	15,786	22,061	32,119	21,501	22,116
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	720	720	720	720	720
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△15.2	45.4	49.7	△31.2	6.3
純資産総額	(百万円)	1,248	861	847	1,168	720	673

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

## 投資環境

国内株式市場は作成期初から2019年8月にかけては、米中対立への懸念などから下落しました。その後は、米中通商協議の進展期待や円安の進行などから国内株式市場は上昇する展開となりました。

為替市場では、ブラジル国内景気の低調さを背景に中央銀行が政策金利を引き下げたことなどから、作成期を通じてブラジルレアルは対円で下落しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは△0.3%台から△0.0%台のレンジで推移しました。米国では、米中貿易問題で第一段階の合意が行われ、経済的不透明感が解消に向かうとの見方から、F R B（米連邦準備理事会）は追加の金融緩和に対して消極的な姿勢を強めています。そうした中、日銀は消費税増税の影響を見極めるため緩和的な金融政策を維持しています。そのため、3ヵ月国庫短期証券利回りは小幅な動きとなりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスB R Lの組入比率は原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

### ●ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスB R L

銘柄選択については、外部環境の追い風を享受することよりも、独力で成長を遂げると考える企業を中心に投資しました。国際政治経済の状況をふまえ、投資機会を探りながら運用を行いました。有望銘柄の買い付けを行い、相場の回復を見据えたポートフォリオの構築を進めました。

また、円売りブラジルレアル買いの為替取引等を行いました。

### ●D I A Mマネーマザーファンド

残存期間の短い国債や政府保証債、地方債などで運用を行いました。

## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	2019年7月17日 ~2019年8月13日	2019年8月14日 ~2019年9月13日	2019年9月14日 ~2019年10月15日	2019年10月16日 ~2019年11月13日	2019年11月14日 ~2019年12月13日	2019年12月14日 ~2020年1月14日
当期分配金（税引前）	60円	60円	60円	60円	60円	60円
対基準価額比率	0.29%	0.30%	0.31%	0.31%	0.29%	0.27%
当期の収益	44円	45円	45円	59円	60円	60円
当期の収益以外	15円	14円	14円	0円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	23,387円	23,373円	23,358円	23,358円	23,363円	23,368円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRLを高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行います。

### ●ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRL

内外政治経済の動向には、引き続き注視すべき要素が散見されます。国内景気は内需に牽引される形で緩やかながらも回復基調が見込まれており、今後の国内株式市場は比較的堅調な展開で推移するものと考えています。国内外の緩和的な金融政策に支えられていることも特段変わりありません。これまで通り、創造性にあふれ、社会の変革を先導しているイノベティブな企業を積極的に評価していきます。加えて、円売りブラジルリアル買いの為替予約取引等を行います。

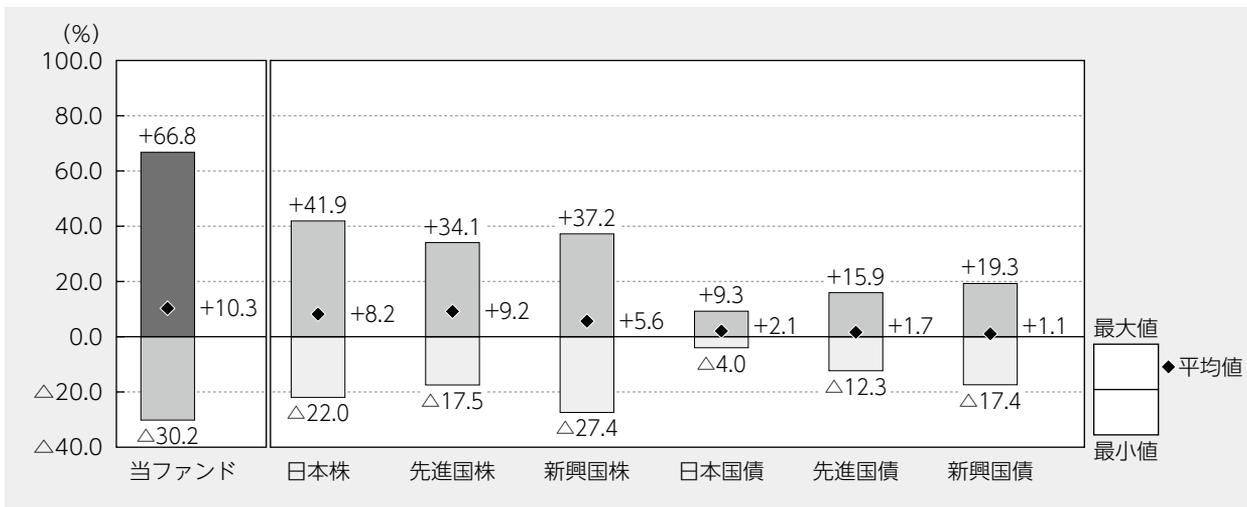
### ●DIAMマネーマザーファンド

日銀の物価目標である2%まではまだ距離があるため、当面は金融政策を据え置くと予想しています。今後も公社債を中心に投資を行い、安定的な運用をめざしていきます。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2011年7月29日から2021年7月13日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	主として円建ての外国投資信託である「ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRL」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託であるD I A M マネーマザーファンド受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	外国投資信託への投資を通じて、主としてわが国の新興市場の株式に実質的な投資を行います。 外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。 外国投資信託の円建て資産部分については、原則として対ブラジルレアルで為替取引（円売りレアル買いの為替予約取引等）を行います。
分配方針	決算日（原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年1月～2019年12月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容 (2020年1月14日現在)

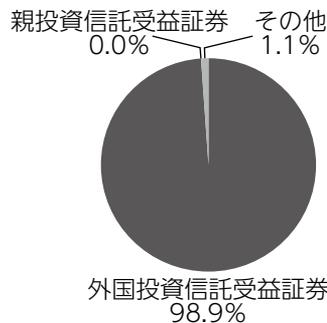
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：2ファンド)

	第102期末
	2020年1月14日
ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスB R L	98.9%
D I A Mマネーマザーファンド	0.0
その他	1.1

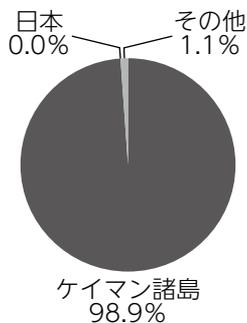
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

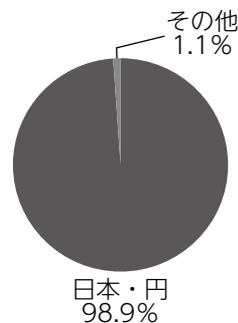
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

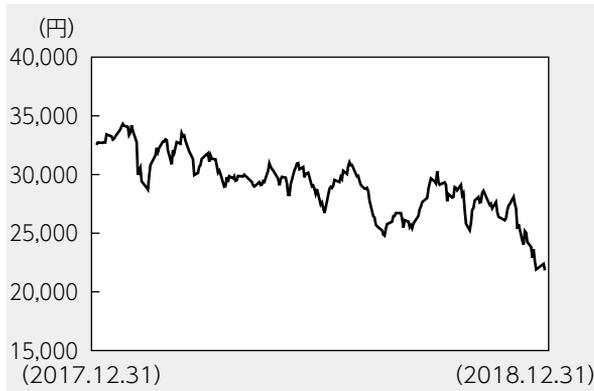
項目	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末
	2019年8月13日	2019年9月13日	2019年10月15日	2019年11月13日	2019年12月13日	2020年1月14日
純資産総額	687,070,187円	663,584,441円	632,593,657円	623,945,669円	650,669,572円	673,933,823円
受益権総口数	335,667,170口	332,942,752口	327,114,992口	320,700,763口	315,134,606口	304,728,942口
1万口当たり基準価額	20,469円	19,931円	19,339円	19,456円	20,647円	22,116円

(注) 当作成期間 (第97期～第102期) 中における追加設定元本額は28,002,871円、同解約元本額は56,908,525円です。

## 組入ファンドの概要

[ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスB R L] (計算期間 2018年1月1日～2018年12月31日)

### ◆基準価額の推移



### ◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
CERES INC/JAPAN /JPY/	日本・円	7.7%
PEPTIDREAM INC /JPY/	日本・円	6.2
UZABASE INC /JPY/	日本・円	5.8
CROWDWORKS INC /JPY/	日本・円	5.4
RAKSUL INC /JPY/	日本・円	5.3
ISTYLE INC /JPY/	日本・円	4.8
TKP CORP /JPY/	日本・円	4.3
SANBIO CO LTD /JPY/	日本・円	3.5
RENOVA INC /JPY/	日本・円	3.1
MONEY FORWARD INC /JPY/	日本・円	3.0
組入銘柄数	91銘柄	

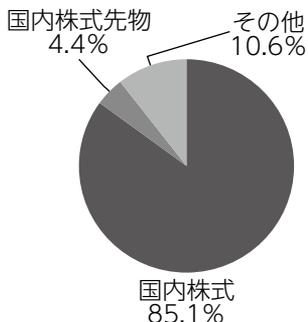
### ◆1口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載していません。

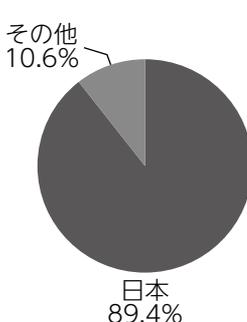
### ◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買 買建	比率
TOPIX		4.4%
組入銘柄数	1銘柄	

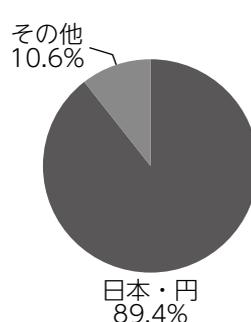
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



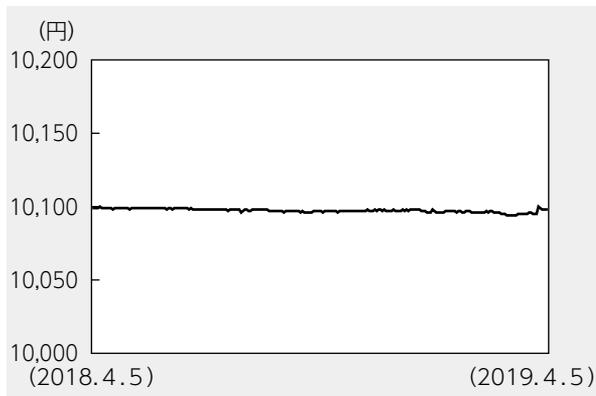
### ◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はジャパンスモールミッドキャップファンドクラスB R Lの計算期間(決算日が休日の場合は前営業日まで)のもので、また、分配金を再投資したものとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ジャパンスモールミッドキャップファンドの決算日(決算日が休日の場合は前営業日)現在の状況を表示しております。なお、組入円建て資産については、ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスB R Lにおいて、円売り/ブラジルリアル買いの為替取引を行っています。
- (注3) 比率はジャパンスモールミッドキャップファンドの純資産総額に対する割合です。
- (注4) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。
- (注5) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。
- (注6) 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、管理事務代行会社であるBrown Brothers Harriman & Co.のデータに基づいてアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【DIAMマネーマザーファンド】（計算期間 2018年4月6日～2019年4月5日）

◆基準価額の推移



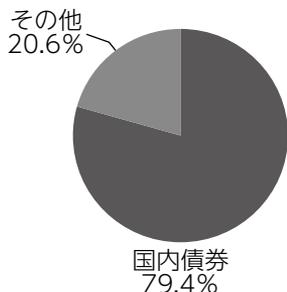
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
1 2 3回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	74.4%
3 9 1回 利付国庫債券 (2年)	日本・円	1.2
3 0 1回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.2
3 9 2回 利付国庫債券 (2年)	日本・円	0.6
3 8 8回 利付国庫債券 (2年)	日本・円	0.6
2 1年度3 5回 兵庫県公募公債	日本・円	0.3
1 1 2回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	日本・円	0.2
2 6年度4回 静岡県公募公債	日本・円	0.1
2 7年度2回 千葉県公募公債	日本・円	0.1
2 7年度 京都府京都みらい債	日本・円	0.1
組入銘柄数	22銘柄	

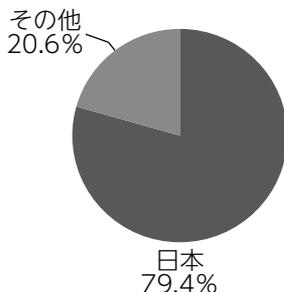
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

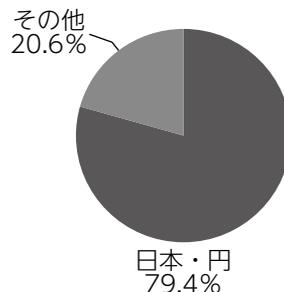
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,097円）で除して100を乗じたものです。なお、(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数です。その他は、信託事務の処理に要する諸費用等です。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

